

伊豆大島の地殻変動*

Crustal Deformations of Izu Oshima Volcano

国土地理院

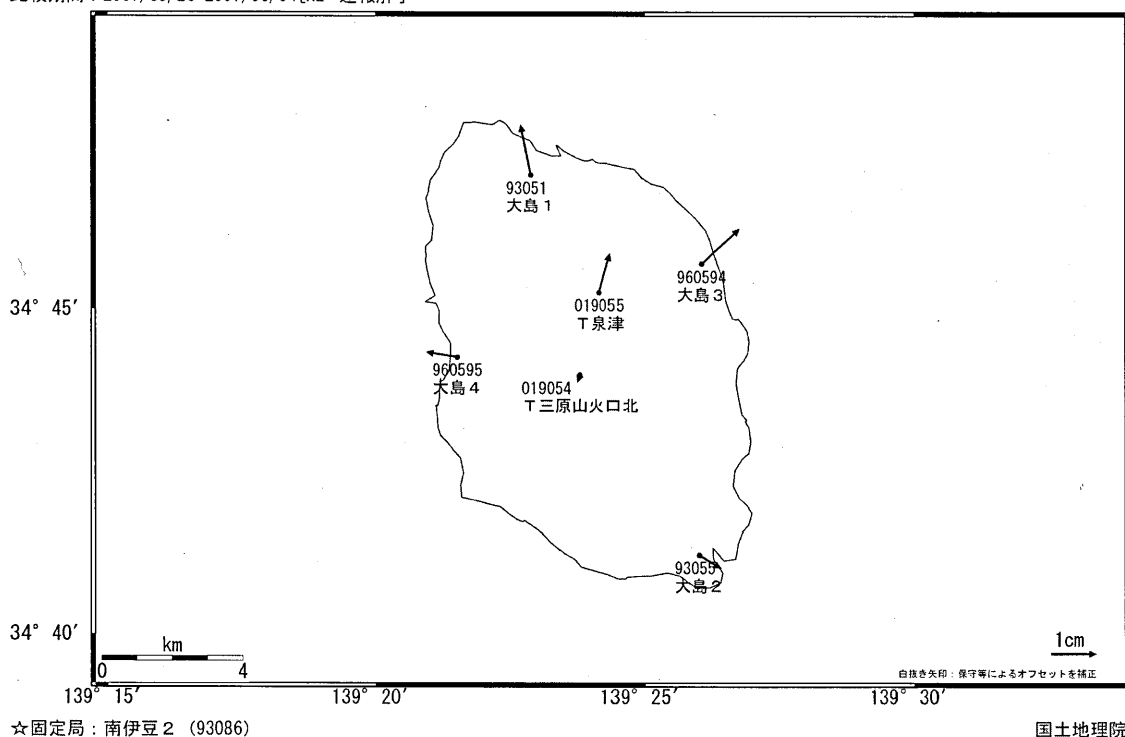
Geographical Survey Institute

第 1 図(a)-(b)は、伊豆大島での GPS 観測点における水平成分と上下成分の地殻変動の結果である。この結果は、伊豆半島南部に位置する南伊豆 2 (93086) を固定点とし、基準期間の 2007 年 3 月 1 日から 10 日間の解析結果と比較期間の 2007 年 5 月 26 日から 10 日間の解析結果の変動量を示している。

伊豆大島では、跛行を繰り返しながら長期的な基線の伸びが続いているが、第 1 図(a)-(b)から分かるように、2007 年 2 月頃から膨張傾向にある。これは、島全体の伊豆大島火山を通じた変化であるといえる。また、今回の膨張の変化は、1996 年以降で最も速いものである。GPS と APS による膨張源の推定では、島のほぼ中央部、6km 程度の深さのマグマ溜りへのマグマの蓄積が継続して進行していると考えられる。

伊豆大島の地殻変動（水平）

基準期間：2007/03/01-2007/03/10[F2: 最終解]
比較期間：2007/05/26-2007/06/04[R2: 速報解]



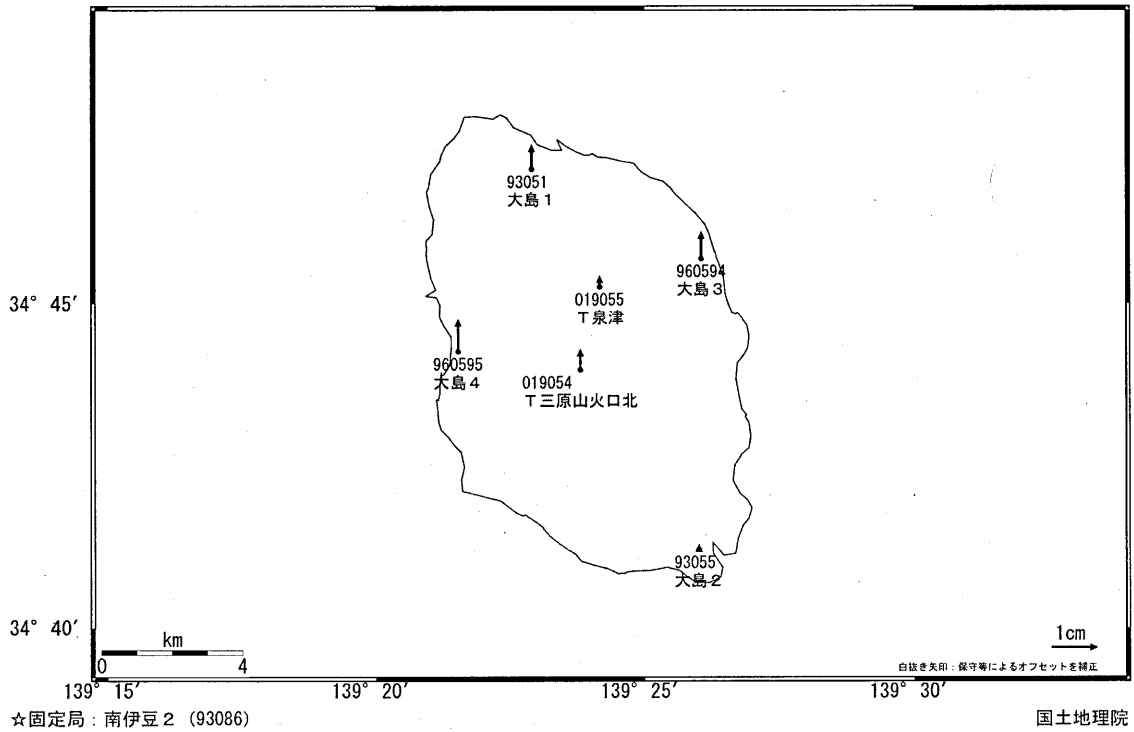
第 1 図 (a) 伊豆大島における GPS 連続観測点の水平変動ベクトル図

Fig.1(a) Horizontal displacements of GPS stations around Izu Oshima Volcano during March 2007 to May 2007.

* 2007 年 12 月 19 日受付

伊豆大島の地殻変動（上下）

基準期間：2007/03/01-2007/03/10[F2: 最終解]
比較期間：2007/05/26-2007/06/04[R2: 速報解]



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第 1 図 (b) 伊豆大島における GPS 連続観測点の上下変動ベクトル図

Fig.1 (b) Vertical displacements of GPS stations around Izu Oshima Volcano during March 2007 to May 2007.